

「今、私たちにできること 患者さんからの声」



くにたけ小児歯科医院

國 武 哲 治

■ 略歴

昭和63年	九州大学歯学部卒業
昭和63年	九州大学歯学部小児歯科学教室入局
平成3年	聖マリア病院勤務
平成3年	小児歯科 柏木医院勤務
平成9年	くにたけ小児歯科医院開院

近年、少子化と一般歯科での小児患者の積極的な取り組みによる患者数の減少と小児患者の齲蝕の軽症化により、小児歯科専門医での診療は以前に較べて余裕を持って行えるようになりました。

また、齲蝕予防を主訴に来院する方が多く見られる一方、お子様の歯には無関心で治療は医院任せの方もいらっしゃって保護者の考え方にも多様性が出てきました。フッ素やシーラントの安全性についての質問も多く寄せられています。

上記のような事例に対応すべく、各医院ではブラッシング指導、間食指導、摂食指導、母親教室等の予防教育や母子分離の緩和、待合室の改善、治療についての十分な説明といったさまざまな新しい試みを行っています。反面かたくなに守っているスタイルやポリシーもあると思います。

これらの取り組みは実際患者さんにはどう映っているのでしょうか。私たちは患者さんの声を聞く機会はありませんでした。

今回、定期健診中断患者というどちらかといえば小児歯科に不満をもっている方々にアンケートを行い、患者さんの生の声を聞くことができましたので紹介しようと思います。

主に中断した理由や小児歯科に対する意見や要望について、患者さん側の問題と医院側の問題に分け、さらに医院側の問題について細分化して分析し、できるだけ具体的に公開しようと考えています。

なかには耳が痛いものもありますが、私たちと受け取り方の違う面や、気付かなかった面も出てくると思います。

失った患者さんは何を求めていたのか議論することが今後の小児歯科医院の体制作りに役立つと確信しています。